

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
1563	JNN報道総力特番 巨大地震PART1 震源地からの証言	TBS 47分 1979/8/26	ドキュメンタリー	パート1は、関東大震災、サンフランシスコ、ロングビーチ、福井、チリ、三陸沖、南海道沖など、過去の大地震の貴重な映像記録や現地踏査を紹介。
002999	NHK特集 分析・集中豪雨災害 —何が生死を分けたのか—	NHK 50分 1982/8/30	ドキュメンタリー	1982年夏、日本列島は記録的な集中豪雨に見舞われた。7月23日長崎市を豪雨が襲い、さらに台風13号が追い討ちをかけるように上陸。全国各地で大規模な山崩れが続発し、死者行方不明者は424人に達した。何が生死を分けたのか、災害に隠された事実は何か。科学的な証明実験を基礎に、奈良県西吉野村の大崩壊、東海道本線富士川鉄橋流失事故を分析。様々な教訓を被災地の事実から積み上げていく。
003672	特集クローズアップ 液状化した大地 日本海中部地震の謎	NHK 40分 1983/8/29	ドキュメンタリー	日本海中部地震にみられた「液状化現象」のメカニズムを、被災地の調査や実験で明らかにするとともに、予防対策について考える。1983年5月26日の日本海中部地震は、その直後発生した大津波によって100人を越す犠牲者を出した。一方陸上では、青森から山形にわたる広い地域で地盤の液状化し、道路や民家の被害が相次いだ。
003673	テレビ气象台 関東大震災・火災旋風	NHK 30分 1983/9/2	ドキュメンタリー	9月1日の「防災の日」にちなんで、地震による火災の恐ろしさを訴える。関東大震災は、災害史上例のない火災による惨事が起きた。本所区（現墨田区）では、避難していた4万人のうち3万8千人が焼死した。原因は、烈風の中に火の粉を抱え込んだ火災旋風だといわれている。一瞬のうちに多数の命を奪った火災旋風とは一体どういうものなのか、実験を交えて探る。
003720	大崩壊のナゾに迫る ～長野県西部地震～	中部日本放送 52分 1984/12/27	ドキュメンタリー	1984年9月14日に起きた長野県西部地震による御嶽山の大崩壊は、100年に1度というほど大規模なものだった。中部日本放送だけがとらえた「土石流の瞬間」の映像を分析する一方、大崩壊を目撃した人の話をまじえ、京都大学防災研究所が「土石流説」を裏づけるまでの過程を描く科学ドキュメント。
2421	NHK特集 首都激震 ～情報都市・地下からの検証～	NHK 45分 1986/8/31	ドキュメンタリー	巨大地震が東京を襲ったらどうなるか。専門家や研究機関の協力で、安政地震をモデルにした東京直下型地震による被害予想のシミュレーションを作成、盲点とされる地下構造物に焦点を絞り、近代都市の弱点に鋭く迫る番組。東京で予想される巨大地震は直下型で震度は6以上、学者によっては確率50%を超えるともいう。関東大震災以来、東京は長い平安な時を経て、世界有数の情報都市へと変身した。年ごとに摩天楼は数を増し、街は24時間眠ることを知らない。そんな東京にとって最大のアキレス腱は大地震対策。東京はどこまで耐えきれるのか。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
004297	横浜市特別番組 大震災に備える —安全 安心 安定都市をめざして—	テレビ神奈川 29分 1995/3/26	報道・時事	阪神淡路大震災を教訓に、見直しや強化が進められている横浜市の防災対策を紹介する。1995年1月、阪神淡路大震災は戦後初めての大都市災害として甚大な被害をもたらした。横浜市は救援活動に携わる一方で、市における直下型地震被害想定を見直し、防災対策の強化を図っている。被災地を見てきたボランティアや防災に関わる人へのインタビューを交え、大震災に備える横浜の姿を伝える。
08633	震災報道スペシャル 生命を守る家 日常に潜む危険を徹底検証	毎日放送 47分 1997/3/16	報道・時事	阪神大震災から2年。6300人を超す犠牲者の8割は家屋倒壊による圧死だった。死因を検証すると、防ぐことのできたケースもあった。今回の震災で初めて「家具倒壊による圧死」と「通電火災」が注目された。家での被災を最小限に防ぐためどんな備えが必要か。圧死の構造、住宅内部の凶器・家具、さらに地震が収まった後に訪れる通電火災に焦点を絞り、身の回りにあるものが凶器になるメカニズムを検証する。
16489	放送大学特別講義 現代社会とボランティア 山崎美貴子	放送大学 44分 1998/5/9	教育・教養	阪神淡路大震災などに際して、多くのボランティアの活動が注目された。また、職場や地域でも、従来とは異なる形態のボランティアを振興する動きがある。しかし、多くの人はどのような形の活動が望ましいのか分からず戸惑っている状況も見られる。ボランティア活動の意義、方向などを、具体的な事例を紹介しながら、日本のボランティア活動の指導的立場にある講師が解説する。講師は明治学院大学の山崎美貴子教授。
8082	この島に生きる ～奥尻・震災から5年～	テレビ北海道 28分 1998/8/30	ドキュメンタリー	1993年夏の北海道南西沖地震から5年。最大の被災地となった道南の日本海に浮かぶ奥尻島では慰霊碑が完成し、町は震災からの復興を宣言した。だが、地震による津波や火災で肉親を失った島民たちの心は果たして復興できたのか。
07694	あの夏を忘れない ～西郷村・豪雨災害から一年～	福島中央テレビ 28分 1999/9/19	ドキュメンタリー	1998年8月27日の豪雨災害を西郷村を中心に振り返ると共に、村のこの一年間の取り組みを紹介。村の社会福祉施設では裏山の土砂崩れで5人が死亡、民家でも2人が亡くなった。一連の災害は激甚指定も受け、河川改修を中心とした復旧が始まった。村はアンケート調査の結果、情報伝達の手段の不足や水害への備えがなかったことを分析。防災行政無線の設置と村初めての水防訓練を行う。
10491	NNNドキュメント'01 じ・し・ん ～子供たちが刻んだ未来への言葉～	読売テレビ放送 26分 2001/1/15	ドキュメンタリー	阪神大震災を体験した子どもたちの作文を取り上げ、書き手である子どもたちの現在の姿を追う。◆人々の記憶の中で風化する阪神大震災。あの悲劇から6年。震災は、子どもたちに厳しい試練を課した。身体的にも精神的にも成長過渡期にある子どもたちの目に、震災という出来事はどう映り、記憶されたか。多くの子どもたちは「作文」という形で震災当時の気持ちを表現した。読み手を意識せず記された証言は、驚き、戸惑い、悲しみ、別離、ふれあい、決意などが素直な言葉で綴られている。
015195	NHKスペシャル 21世紀日本の課題 徹底検証・大地震にどう備えるか ～東海地震・広がった危険エリア～	NHK 60分 2002/9/1	ドキュメンタリー	いつ起きてもおかしくないという東海地震。2002年4月、国の中央防災会議は危険地域を見直し、震度6以上の揺れや津波などで大きな被害の出る恐れのある『強化地域』に新たに96市町村を指定した。この拡大によって浮上した新たな課題を検証する。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
011732	迫り来る！ 巨大地震	中部日本放送 49分 2002/9/19	実用	発声が予想される東海地震の危険性を分析し、どう備えるべきかを考える。木造建造物が密集する地域や、高架道下の道路、ビルの耐震化などの問題点。ある日突然“警戒宣言”が発表されたら、家庭・学校・病院・交通機関がどうなるか。想定ドラマで疑似体験し、サバイバルチェックで地震への備えを確認する。
15204	NHKスペシャル 減災 ～阪神大震災の教訓はいま～	NHK 46分 2003/1/17	ドキュメンタリー	阪神淡路大震災から8年がたち、災害対策の現場に「減災」という考え方が定着してきた。限られたヒト・モノ・カネをどう配分すれば被害を最小限に抑えられるかという、合理的な思想に基づく「減災」の最先端を、各自治体の取り組みに追う。
013341	AKTスーパーニューススペシャル 伝えようあの教訓 日本海中部地震から20年	秋田テレビ 45分 2003/5/26	報道・時事	秋田県内だけでも83人の犠牲者を出した1983年の「日本海中部地震」。20回目の5月26日に際して、当時の映像を紹介し、その時の教訓をもう一度新たにしたいうえで、20年の変遷を新たな検証材料とし、地震・防災対策について考える。
13353	奥尻島 魅惑の探訪 ～旭道山の感動ふれあい旅！～	テレビ北海道 45分 2003/6/17	ドキュメンタリー	200名近い犠牲者を出した北海道南西沖地震から10年。震災から10年間の島の移り変わりを紹介するとともに、島民たちの汗と努力でひとまわりもふたまわりも楽しく、そしてたくましくなった奥尻の魅力を伝える。
013597	KTS報道特別番組 あの夏を忘れない 8.6豪雨災害から10年	鹿児島テレビ 放送 51分 2003/8/4	ドキュメンタリー	鹿児島市内の12,000棟が浸水し48人の死者を出した“8.6豪雨災害”から10年。取られてきた対策と残る課題を検証し、癒えない心の傷を抱える人々の姿を伝える。崖地や河川の整備、住民の避難体制など、この10年で何が改善され、どんな課題が残されているのか検証。災害に対する意識を測るための「市民アンケート」の結果も紹介しながら、専門家とともに今後の防災のあるべき姿を探る。
013377	迎え撃つ！東海地震	静岡第一テレビ 51分 2004/1/17	実用	2004年1月、国は東海地震の予知情報の出し方を変更し、これまでより早い段階で一部の防災活動を開始する「東海地震注意情報」を新設した。予知できるとされ、24時間体制で監視が続く東海地震だが、突発発生の可能性もある。命を守る耐震補強の方法、治療の優先順位を決めるトリアージや応急処置、津波の恐怖と対処法などサバイバル・ポイントを紹介する。
13392	Space2004 へこたれへんで！～震災9年の長田～	サンテレビジョン 48分 2004/1/25	ドキュメンタリー	1995年の阪神淡路大震災から9年。最も被害が大きかった神戸市長田区で、復興へ歩み続ける人々の活動を追う。◆JR新長田南地域では、商店主たちでつくるまちづくり会社が地元の名物「ぼっかけ」を商品化して販売、「ぼっかけず」という野球チームを結成した。また復興再開ビルが次々に完成し、震災に耐えた店舗で営業を続けてきた商店主たちが戻ってきて新たな一歩を踏み出した。一方、震災で焼けた御管地区では、復興区画整理が進む中、住民達が地区をテーマにした「御管カルタ」を作り、高齢者たちを中心としたコミュニティの輪を広げている。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
203778	VOICE21 緊急報道スペシャル 徹底検証 台風16号 高潮の恐怖	山陽放送 46分 2004/9/9	報道・時事	2004年8月30日夕刻、山口県に上陸した台風16号は、978ヘクトパスカルという勢力と満潮が原因となって、瀬戸内沿岸にかつてないほどの高潮をもたらした。この台風によって引き起こされた被害の実態を報道すると共に、高潮が起こったメカニズム、その時行政はどう対処したかを検証し、今後の防災行政はどうあるべきかを考える。
14462	Space2004 台風から1カ月 10年目の被災	サンテレビジョン 48分 2004/11/28	ドキュメンタリー	2004年10月20日に兵庫県を襲った台風23号の被災地を連日取材した集大成。今後の方針や被災者への呼びかけを行った。◆兵庫県内で死者26人、住宅被害2万戸を出し、阪神・淡路大震災以来の災害となった台風23号。特に豊岡市周辺と淡路島では、川の氾濫や土砂崩れが相次ぎ、大きな被害が出た。
203779	報道特別番組 街はなぜ沈んだ ～検証・台風被害2004～	山陽放送 54分 2004/12/30	ドキュメンタリー	2004年、瀬戸内を7つの台風が襲った。沿岸を未曾有の高潮が襲い、山肌の民家は土石流に流された。失われた27人もの命。災害が少ないこの地方で、人々の心の守りは堅くなかった。防災体制はどうなっていたのか。人々はなぜ避難勧告に従わなかったのか。「災」の文字をあてられた2004年の防災を改めて検証する。
14340	地震で死なない 大切な人を失わないために ～阪神から静岡へ～	静岡朝日テレビ 47分 2005/1/15	報道・時事	阪神大震災で被災した人たちそれぞれの人生を紹介しながら、かけがえのない人の命を失わないことを最大の地震対策ととらえる。◆6433人の死者を出した阪神大震災から10年。その9割が30分以内に死亡し、死因の多くは住宅の崩壊による圧死もしくは窒息死だった。静岡県内では、予想される東海大震災にそなえて長い間地震対策が行われてきたが、それは地震後への備えであり、住宅の耐震性を確保する政策はほとんど進められてこなかった。地震で死なない、大切な人を失わないという一番大事な対策は遅れていると言わざるを得ない。
15166	巨大地震 震度7！“その時”あなたは生き残れるか	関西テレビ放送 51分 2005/1/15	実用	阪神大震災からまもなく10年。被害の検証が進み、大部分の人が倒壊した建物や家具によって地震発生直後に命を落としていたことがわかってきた。家を、家具を凶器にしないためにできることは何かを具体的に示す。
14406	東海地震 “減災”への提言	テレビ静岡 48分 2005/1/17	報道・時事	阪神大震災から10年。その教訓を元に、静岡県内で予想される東海地震での被害を最小限に食い止める方策について考える。◆「阪神大震災被災者の今」「東海地震の最新情報」「被害想定に基づく津波被害のシミュレーション」「新潟県中越地震に見る教訓」などから、建物の耐震化、津波から身を守る方法、孤立化対策を提言する。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
14464	阪神・淡路大震災 わたしの10年(第1部)	サンテレビジョン 58分 2005/1/17	報道・時事	阪神・淡路大震災からちょうど10年となる2005年1月17日の夜、肉親を失った人、自宅を失った人、仕事を失った人、支援を続けてきた人をスタジオに招いて、それぞれの立場から「わたしの10年」を語ってもらった。また、5時46分で止まっているサンテレビの時計、「水をください」と書かれた立て札、救援チームの横断幕、ボランティア団体や仮設住宅の看板など、震災当時を再現する品々をスタジオに集めた。3時間にわたった番組の前編。
14465	阪神・淡路大震災 わたしの10年(第2部)	サンテレビジョン 104分 2005/1/17	報道・時事	阪神・淡路大震災からちょうど10年となる2005年1月17日の夜、肉親を失った人、自宅を失った人、仕事を失った人、支援を続けてきた人をスタジオに招いて、それぞれの立場から「わたしの10年」を語ってもらった。また、5時46分で止まっているサンテレビの時計、「水をください」と書かれた立て札、救援チームの横断幕、ボランティア団体や仮設住宅の看板など、震災当時を再現する品々をスタジオに集めた。3時間にわたった番組の後編。
14463	Space2005 ポーアイ第三仮設 143人の消息	サンテレビジョン 48分 2005/1/30	ドキュメンタリー	阪神・淡路大震災後に建設された仮設住宅のひとつポートアイランド第3仮設住宅、通称「ポーアイ第3仮設」に入居していた人々のその後の消息を追う。◆約130人いた入居者の大部分は60歳以上の高齢者だった。被災状況も住んでいた地域もそれぞれ違う人々が、徐々に仲間意識を強め、新たなコミュニティも生まれた。仮設住宅閉鎖から5年、すし店の経営者だった人は店の再会という悲願を果たせぬまま亡くなった。公営住宅に移ったものの、新しい環境になじめなかった一人暮らしの女性は、自治会役員となったのを機にその地域で生きていくことを決意した。
014344	IBC特集 平成三陸大津波！ —その時、いわては—	IBC岩手放送 44分 2005/2/27	報道・時事	8歳で三陸大津波に遭った80歳の女性が、その時の様子を紙芝居で読み聞かせている。彼女が訴える「被害を防ぐために大切なこと」を、様々な実験を通して検証する。沿岸には津波被害を防ぐ多くの施設があるが、最近の研究で施設だけでは被害を抑えきれないことが分かった。沿岸住民が防災を模索し始めた結果、「防災マップ」と「迅速な避難」の重要性が見えてきた。紙芝居はまさに「迅速な避難」の大切さを伝えていた。
14339	テレメンタリー2005 届かない被災者からのメッセージ	静岡朝日テレビ 26分 2005/3/29	ドキュメンタリー	阪神大震災から10年。死者の8割が建物倒壊による圧死だった。その死者の検死を行った医師が、建物倒壊とはどんなものなのか、その悲惨さを語る。また、家屋倒壊に備えた耐震補強の実態をレポート。なぜ耐震補強が進まないのか、建築家の活動の中からその状況を伝える。
015360	東南海・南海地震に襲われたら ～緊急事態！その時あなたは？！～	テレビ和歌山 30分 2005/6/17	実用	近い将来起こると言われている東南海・南海地震。地震・津波の恐ろしさをドラマ仕立てで伝え、自主防災などの災害への備えを紹介する。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
015461	迫り来る！巨大地震5 知られざる地震・津波の恐怖	中部日本放送 78分 2005/9/11	実用	近い将来確実に起こるといわれている東海・東南海地震。名古屋市、三重県や愛知県の太平洋沿岸、石油タンク、高層ビル、新幹線と、様々な場所での被害状況をシミュレーションし、実験を交えて検証する。また最新の防災対策と、60年前の東南海地震経験者が語る防災への心構えを紹介する。塀や高速高架橋の倒壊を実験映像や3DCGで伝えるほか、50センチの津波でも人が流される実験も紹介。
016252	災害に強いまちに ～豪雨の教訓は生かされたのか～	福井放送 38分 2006/5/26	報道・時事	2004年7月18日、福井県は局地的な集中豪雨に見舞われた。未曾有の大水害から2年、「災害に強いまちづくり」への取り組みを追った。山間部の風景を一変させたほどの豪雨は、濁流となって市街地に流れ込み、中心部は泥海と化した。行政は治水対策を進め、住民間にも自主防災組織の結成が進むなど防災意識は高まっている。
202234	ホリデーにつぼん いっしょに歩こうや ～神父が見つめる震災11年～	NHK 34分 2006/1/9	ドキュメンタリー	阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた神戸市長田区のカトリックたかとり教会。倒壊の危険があると言われた司祭館に住み続け、地域のコミュニティづくりに奔走を続けた神田神父の11年を追う。
200223	防ぐぞ水害 伝えるぞ教訓 羽越水害から40年 最上川こども交流会の記録	山形放送 50分 2007/9/2	ドキュメンタリー	山形県内に甚大な被害を与えた羽越水害から40年。2007年夏、教訓を語り継ごうと県内の小中学生30人が最上川を2日間旅し、水の恐ろしさや地域の取り組み、防災施設の役割を学んだ。体験を終えた彼らは地域の人々へメッセージを届ける。
200189	リサーチャーズ 地震予知の探究者たち ／ 仙台放送開局45周年記念特別番組	仙台放送 48分 2007/10/19	ドキュメンタリー	近い将来高い確率で起きるといわれる宮城県沖地震。もし、その発生を予知できるなら…。地震予知の可能性を求めて旅立つのは、11歳の時に阪神淡路大震災を経験した女優の宮地真緒。杜の都・仙台を皮切りに、舞台はギリシャ、そして中国へ。未来の命を守ろうとする科学者たちを、多彩なCGグラフィックを交えて伝える。
201151	07ドキュメント静岡 原発 いま何が問われているのか ～東海地震と浜岡原発 判決の波紋～	静岡第一テレビ 25分 2007/11/9	ドキュメンタリー	今後30年以内に87%の確率で起こるとされる東海地震。エネルギーM8は阪神大震災の約10倍にあたる。その想定震源域の真ん中にある浜岡原子力発電所は、全国原発の中で最もリスクが大きいといわれている。◆「浜岡原発は東海地震に耐えられるのか」をめぐる、市民グループによる「運転差し止め」の仮処分申請、本訴が提起され、5年半に渡って行われた裁判の判決が2007年10月に言い渡された。新潟の柏崎刈羽原発で地震によるトラブルが多発した記憶が覚めやらぬ中、迎えたこの判決。司法の判断が注目された。番組ではこの判決の意味を問う。
201149	大地震から命を守る ～なまず先生の防災教室～ ／ Love Shizuoka 地震防災キャンペーン	静岡第一テレビ 48分 2008/1/19	実用	東海地震が今後30年で起きる確率は87%。いつか静岡を襲うと言われている中、緊急地震速報が始まった。しかしこの情報がどんなものか、どう活かすのか、まだ理解されていない。緊急地震速報を究極の減災情報とするための「なまず先生」の防災教室。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
203358	備えは今日から！ ～あなたが守る家庭と地域～ ／ 甲府市テレビ広報番組 防災特集	山梨放送 29分 2008/11/29	実用	東海地震での甚大な被害が予想される山梨県。行政の施策や訓練の様子、地震が起きる前に必要なことや、起きた後にすべきことを紹介する。東海地震時の甲府市の被害予想は、死者千人、全半壊率7.8%、断水率44.7%。こうした被害から身を守るため、甲府市では「わが家の防災マニュアル」を作成し全戸に配布。また、ライフライン断絶に備えて各学校の地下に貯水槽を造るなど、防災対策を施している。
203782	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 正しい地震の基礎知識1	静岡第一テレビ 3分 2008/4/12	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203783	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 正しい地震の基礎知識2	静岡第一テレビ 3分 2008/4/19	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203784	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ DMAT支援隊静岡	静岡第一テレビ 3分 2008/5/10	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203785	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 介護用防災ベッド	静岡第一テレビ 3分 2008/5/17	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203786	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 東海地震警戒宣言1	静岡第一テレビ 3分 2008/5/24	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203787	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 東海地震警戒宣言2	静岡第一テレビ 3分 2008/5/31	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203788	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 見直そう！我が家の耐震1	静岡第一テレビ 3分 2008/6/7	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203789	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 海岸付近の災害対策	静岡第一テレビ 3分 2008/6/28	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203790	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 津波の基礎知識	静岡第一テレビ 3分 2008/7/5	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
203791	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 緊急時用浄水装置	静岡第一テレビ 3分 2008/7/19	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203792	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 災害対応ゲーム・クロスロード1	静岡第一テレビ 3分 2008/7/26	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203793	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 災害対応ゲーム・クロスロード2	静岡第一テレビ 3分 2008/8/2	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203794	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 災害対応ゲーム・クロスロード3	静岡第一テレビ 3分 2008/8/9	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203795	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 夏休みこども防災教室	静岡第一テレビ 3分 2008/8/16	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203796	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 新たな備えを提案	静岡第一テレビ 3分 2008/8/23	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203797	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 海底地震観測システム	静岡第一テレビ 3分 2008/8/30	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203798	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 県総合防災訓練	静岡第一テレビ 3分 2008/9/6	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203799	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 山間地の孤立支援	静岡第一テレビ 3分 2008/9/13	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203800	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 日本赤十字社の取り組み	静岡第一テレビ 3分 2008/9/20	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203801	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 市街地での防災	静岡第一テレビ 3分 2008/9/27	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
203802	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 学校に緊急地震速報受信装置	静岡第一テレビ 3分 2008/10/4	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203803	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 県に防災用品店	静岡第一テレビ 3分 2008/10/11	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203804	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 教師と親子の防災訓練	静岡第一テレビ 3分 2008/11/1	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203805	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 静岡市オフロードバイク隊	静岡第一テレビ 3分 2008/11/8	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203806	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 県防災士養成講座	静岡第一テレビ 3分 2008/11/15	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203807	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 災害時高齢者生活支援講習会	静岡第一テレビ 3分 2008/11/22	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203808	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ NTT災害伝言ダイヤル	静岡第一テレビ 3分 2008/11/29	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203809	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 災害救助犬静岡	静岡第一テレビ 3分 2008/12/6	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203810	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 地域防災訓練	静岡第一テレビ 3分 2008/12/13	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203811	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 救急法基礎講習	静岡第一テレビ 3分 2008/12/20	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203812	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 長泉町女性消防団	静岡第一テレビ 3分 2008/12/27	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
203813	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 地域赤十字奉仕団	静岡第一テレビ 3分 2009/1/10	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203814	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ ライフライン 電気	静岡第一テレビ 3分 2009/1/17	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203815	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ ライフライン ガス	静岡第一テレビ 3分 2009/1/24	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203816	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ ライフライン 水道	静岡第一テレビ 3分 2009/2/7	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203817	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ こころのケア研修	静岡第一テレビ 3分 2009/2/14	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203818	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 由比 災害ボランティアコーディネーター	静岡第一テレビ 3分 2009/2/21	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203819	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 災害情報支援システム	静岡第一テレビ 3分 2009/2/28	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203820	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 薬剤師の防災対策	静岡第一テレビ 3分 2009/3/7	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203821	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 落語で防災呼びかけ	静岡第一テレビ 3分 2009/3/14	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203822	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ こどもと防災対策	静岡第一テレビ 3分 2009/3/21	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203823	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 我が家の防災対策	静岡第一テレビ 3分 2009/3/28	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
203824	地震防災チェック ～わが家と家族を守るために～ 子育てグループの防災活動	静岡第一テレビ 3分 2009/4/4	実用	巨大地震が起きたら1人1人がどう立ち向かうのか。視聴者からの疑問や質問に答えるほか、行政の防災事業報告や地震用語の解説など様々な情報を提供し、“わが家と家族を守るために”人々の地震に対する防災意識を高める。
203421	NNNドキュメント'08 震災が結んだ家族 現住所・山岸町仮設住宅	テレビ金沢 26分 2008/4/21	ドキュメンタリー	能登半島地震で自宅が倒壊し、2年限定の仮設住宅に身を寄せた50世帯102人が、ゆるやかな大きなまとまりを築くまでを、区長の男性の姿を通して描く。◆2007年3月、最大震度6強の地震に襲われた奥能登で家を失った人は736人。10か所の仮設住宅には集落ごとに入居するが多かったが、山岸はそれまで顔も知らない相手同士だった。「半端者の寄せ集め」と言われた山岸で区長を引き受けた藤本さんは、毎日1軒1軒を回って声をかけることから始めた。住む家を失い、仕事も不安定。特殊な環境で始まったご近所づき合いは、やがて傷ついた心の拠り所になっていった。
203304	BSN報道特別番組 原発震災 ～中越沖地震10か月 揺れ続ける原発城下町～	新潟放送 48分 2008/5/30	ドキュメンタリー	2007年7月に発生した新潟県中越沖地震から10か月。「原発震災」を巡るそれぞれの動きを検証する。また、国策で行われた原発誘致から30年たち「原発」の存在を見つめなおした被災者や、原発抜きでは復興を成しえない「原発城下町」の現状を探る。
204933	映像40 / 開局40周年記念報道特別番組	サンテレビジョン 108分 2009/5/1	報道・時事	サンテレビ開局40周年記念・生放送の特別番組として、これまでサンテレビ報道部が蓄積してきた貴重な映像で、40年の街と人の歩みを振り返る。「阪神淡路大震災(1995年)」「神戸連続児童殺傷事件(1997年)」「朝日新聞阪神支局襲撃事件(1987年)」「プロ野球史上最長試合(1992年)ほか、阪神タイガース戦の中継」については、コーナーゲストを招いて特集で取り上げる。また兵庫県内の明るい話題として、「40」をキーワードにひょうごの元気な企業を紹介する。
204708	震度7がのこしたもの 新潟県中越地震から5年	新潟総合テレビ 21分 2009/10/17	ドキュメンタリー	犠牲者68人、住宅12万棟に被害を及ぼした新潟中越地震から5年。過疎高齢化が進む中山間地を襲った災害は、集落の孤立や災害弱者の支援などの問題を浮き彫りにした。研究者は被害の全容をまとめ教訓を発信し続けている。また災害をきっかけに地域の産物が見直され、伝統野菜「かぐらなんばん」を全国に広める取り組みが進む。しかし2008年の世界的金融危機は、復興の途上にある地元企業をも飲み込んでいた。
205616	震災16年特別番組 忘れないあの日 刻まれた震災	サンテレビジョン 48分 2011/1/16	ドキュメンタリー	6000人を超える犠牲者を出した阪神・淡路大震災。被災地の各地には、「1.17希望の灯り」や「神戸の壁」など、犠牲者を追悼し、被災体験を語り継ぐためのモニュメントが建てられている。被害が大きかった地域の公園や学校などさまざまな場所に、さまざまな思いで建てられたモニュメントたち。番組では、サンテレビ報道部が地域ごとに取材し、ニュース番組内で地道に紹介を続けているモニュメントから十数カ所をピックアップし、再編集したVTR構成で、被災地の人々の思いを伝える。

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
205563	news every. スペシャル 巨大地震からの教訓！ 近所の絆が命をつなぐ	中京テレビ放送 24分 2010/9/19	報道・時事	東海、東南海、南海地震が警戒される東海地方。愛知県安城市のマンション防災会が被災者から学んだのが「近所の力」。阪神淡路大震災で生き埋めになった時に助けてくれたのは警察や消防ではなく近所の力だったという。津波も警戒されているが、専門家は「率先避難者」という、積極的に先導して避難を促す役割を提唱、三重県尾鷲市川原町自治会で実践している。
201955	JNNルポルタージュ 3・11大震災 記者たちの眼差し	TBS 78分 2011/11/27	ドキュメンタリー	JNNの記者たちが東日本大震災の被災地に立って何を思い、どんな心境で取材を続けたのか、自問自答する心の軌跡が綴られたドキュメンタリー。津波に遭遇した記者は、逃げねばという思いと必死に闘いながら手持ちのカメラを回し続けた。少女の遺体を発見した記者は、遺体と対面する両親に対して頭の中を真っ白にしてマイクを向けた。生まれ育った町が津波に襲われる瞬間を撮影した記者、生と死が背中合わせの現場で報道に徹するべきか救助すべきか葛藤する記者もいた。甚大な震災の惨禍を、記者たちの個人的な心情も含めた報告を連ね、オムニバス形式で多面的に描く。HBC、ATV、IBC、TBC、TUY、TUF、TBS、NBC、OBSのJNN9社、9つのエピソードで構成。